

1 単元名 球技ベースボール型（ソフトボール）

2 単元の見積

- 各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きができるようにする。(技能)
- 自ら進んで運動に取り組み、仲間と協力して自己の役割を果たそうとすることができるようにする。(態度)
- 球技ベースボール型の特性やルールなどを理解し、ボール操作やボールを持たないときの動きのポイントを発見したり、身に付けた知識を活用したりすることができるようにする。(知識、思考・判断)

3 単元について

(1) 教材観

中学校学習指導要領解説保健体育編では、球技「ベースボール型」について、「身体やバットの操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻守を規則的に交代し、一定の回数内で相手チームより多くの得点を競い合うゲームである」と示されている。第1学年及び第2学年球技ベースボール型の技能の目標では、「基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻守をすること」と示されている。また、ボール操作の例示では、「守備位置から塁上へ移動して、味方からの送球を受けること」、定位置での守備についての例示では、「各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きをすること」と示されている。このことから、走者の進塁を防ぐためのボール操作や定位置での守備の動き方についての理解を深めることで仲間のプレイをサポートする動きが身に付き、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる運動である。

(2) 生徒の実態

事前実態調査(平成30年10月9日実施、女子*人)を行った結果、保健体育授業の中で球技の運動が楽しいと回答した生徒は*人だった。そのうち、ベースボール型の運動を楽しんでいると回答した生徒は*人と、少ない結果だった。一方、基本的なベースカバーの動き方に関する予備調査の結果、動き方を正しく記入できた生徒は*人となり過半数を上回る結果が出た。しかし、昨年度の授業実践を考察すると、生徒のボールを持たないときの動きに課題が残されている。このことから、知識があるにも関わらずゲーム中にベースカバーに動くことができる生徒が少なく、多くの生徒はベースボール型運動の楽しさや喜びを実感することができていないことが分かった。

(3) 指導観

本単元では、守備連携シートを活用したタスクゲームを段階的に実践し、戦術的課題の解決に向けて、役割や状況に応じた動きを身に付ける学習を中心に単元を進める。まず、守備時において、ベースカバーの動き方を書き込んでいく守備連携シートを活用し、自分や仲間の動きを視覚化することで各ポジションの役割に応じた動き方の理解を深める。また、役割や状況に応じた動きを限定したタスクゲームを段階的に実践していくことで、走者の進塁を防ぐための基本的な動きができるようにする。このような学習過程を通して、役割や状況に応じた動き方を理解し、ボール操作やボールを持たないときの基本的な技能が身に付いた生徒の育成を目指していきたい。

4 単元の評価規準(学習活動に即した評価規準)

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
評価規準 学習活動に即した	① 課題の解決に向けて、ソフトボールの学習に◎積極的に参加している。 ② 作戦を決める話合いに◎積極的に参加している。	① 技術的な課題や動きのポイントについて、自分の考えを◎分かりやすく書き出している。 ② 身に付けた知識を、◎状況に応じて活用している。	① 守備位置から塁上へ移動して◎正確に送球を受けることができる。 ② ポジションの役割に応じたベースカバーやバックアップの動きが◎素早くできる。	① ゲームのルールを◎正しく理解している。 ② ボールを持たないときの動き方を◎正しく理解している。

◎下線は十分に満足できる姿

5 指導と評価の計画（7時間扱い）

○指導の機会 □評価の機会 ↓観察評価期間

時間	主なねらい・学習活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじめ	<p>○ 学習のねらいや活動計画，ゲームのルールなどを理解する。</p> <p>1 学習のねらい，活動計画，ゲームのルールなどを知る。 2 チーム編成をして，自分の役割を確認する。 3 チームごとに準備運動を行う。 4 試しのゲームをする。 5 チームごとに片付けを行う。 6 学習を振り返り，学習カードに記入する。</p>	① ↑			① (観)
なか	<p>○ ボールを持たないときの基本的な動き方を理解する。 ○ ボールを持たないときの動きの課題を見付ける。</p> <p>1 本時の学習内容を確認する。 2 前時の振り返りからチームの課題を確認する。 3 チームごとに準備運動を行う。</p>	↓ 1 (観)		① ↑	
	<p>4 ドリルゲームを行う。(連続キャッチボール) 5 守備連携シートで動き方を考える。(個人) 6 タスクゲームを行う。 7 守備連携シートで動き方を確認する。(グループ) 8 学習を振り返り，カードに記入する。</p>		① (カ)	↓ 1 (観)	
なか	<p>○ 身に付けた技能を生かして，メインゲームをする。</p> <p>1 本時の学習内容を確認する。 2 前時の振り返りからチームの課題を確認する。 3 チームごとに準備運動を行う。 4 守備連携シートで動き方を考える。(個人) 5 メインゲームを行う。 6 守備連携シートで動き方を確認する。(グループ) 7 学習を振り返り，カードに記入する。</p>	② ↑			② (観・カ)
	<p>○ チームにおける自己の役割を理解しながら，積極的にプレイすることができる。 ○ 走者や打球の状況に応じて，走者の進塁を防ぐための基本的な動きができる。</p> <p>1 本時の学習内容を確認する。 2 前時の振り返りからチームの課題を確認する。 3 チームごとに準備運動を行う。</p>			② ↑	
⑦ 本時	<p>○ 身に付けた技能を生かして，メインゲームをする。</p> <p>1 本時の学習内容を確認する。 2 前時の振り返りからチームの課題を確認する。 3 チームごとに準備運動を行う。 4 ドリルゲームを行う。(キャッチボール，ゴロキャッチ) 5 守備連携シートで動き方を考える。(個人) 6 メインゲームを行う。 7 守備連携シートで動き方を確認する。(グループ) 8 学習を振り返り，カードに記入する。</p>	↓ 2 (観)			② (観・V)

観・観察，カ・学習カード，V・VTR

6 本時の学習（7 / 7 時間）

(1) 目 標

- ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの動きができる。
(運動の技能)

(2) 準備・資料

ソフトボール、グラブ、バット、ベース、防球ネット、ビブス、カラーコーン、学習カード、ホワイトボード、得点板、タブレット端末

(3) 展 開 ※本時では、「運動の技能」を主として評価する。

	学習活動・内容	指導上の手立て・評価
はじめ 5分	1 あいさつ・健康観察を行う。 2 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">仲間と協力して相手チームの進塁を防ぎ、身に付けた技能を發揮してゲームを楽しもう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席や体調を確認し、グループの人数が少なすぎる場合は、調整する。 ・学習カードから、授業の見通しをもてるようにする。
なか 35分	3 チームごとに準備運動をする。 4 ドリルゲームを行う。 ・連続キャッチボール ・連続ゴロキャッチ 5 ゲームのルールを確認して、ポジションや打順を決める話し合い活動を行う。 6 ポジションに応じた動き方を考え、守備連携シートに記入する。 ・個人で考え、シートに記入する。 7 メインゲームを行う。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールに使う筋肉を解すことができる準備運動を考えさせて、チームごとに実施させる。 ・技能のポイントをホワイトボードに掲示しておく。 ◇投球や捕球の動作が身に付いていない生徒には、友達のよいところに注目させたり、教師が技能のポイントを助言したりする。 ・リーダーを中心に話し合い、全員の意見を聞きながら活動するよう助言する。 ・ボールを持たないときの動きに焦点を当て、チームの課題を達成するために、自分が何をすべきかを考えるように伝える。 ・前時の活動で身に付けた技能を生かすことやチームで助け合いながら活動することを伝える。 ・試合を行っていない生徒は、タブレットで仲間の動きを撮影し、振り返りで動きを確認し合えるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> ポジションの役割に応じたベースカバーやバックアップの動きが◎素早くできる。 【運動の技能②】(観察, VTR) </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇守備連携シートとタブレットを用いて、ボールを持たないときの動きを視覚的に捉えさせることで、具体的な課題を発見できるようにする。
おわり 10分	9 後片付けと整理運動をする。 10 個人で学習を振り返り、考えたことを学習カードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や怪我の有無を確認し、健康状態を確認する。 ・チームの課題に対して、自分自身の動きが有効だったか振り返るよう助言する。

◇努力を要する状況にある生徒への手立て